

GAZOO Racing Rally Challenge2020 第5戦 報告書

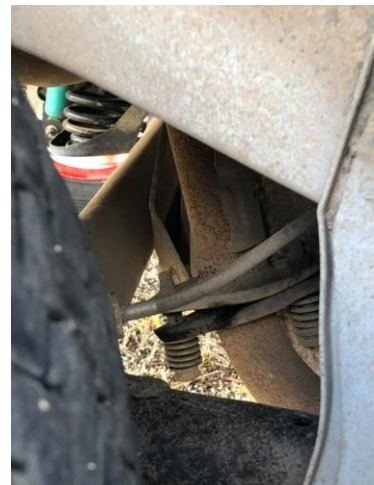
大会名: Rd.5 吉野ヶ里
開催日: 2020年10月18日
開催地: 佐賀県吉野ヶ里
順位: C-2クラス3位
参加台数: 11台
路面状況: ドライ
ドライバー: みなびよ
コ・ドライバー: 桐生 清
ゼッケン: 108号
エントリー名: N愛知DLラブドライブVITZ
タイム: SS1 : 2'57"7
 SS2 : 3'21"3
 SS3 : 2'48"0
 SS4 : 3'17"1
 SS5 : 2'48"0
 SS6 : 3'22"5
 トータル : 18'34"6



目標: 今シーズン中に入賞

【前日の出来事】

飛行機で福岡空港に到着し、携帯の電源を入れると、車を運んでいたコドラから「くるまうごかない」と平仮名でメールがあり慌てて電話をかけたら動かない、帰るとかいうから、エンジンでも壊れたかと思ったら普通に空港にいます。向かっている最中に車から異音が生じ絶対にタコ足が砕けたとか言ってます。いや、今普通に走ってるじゃんと思いつつ、とりあえず最寄のネッツに行き点検してもらいます。店に行くのに何度も道を間違い既にパニック。絶対にタコ足が壊れてる、前に別の車で壊した時と同じとか言い出すし、頑張って点検してもらったけど問題ないとのこと。ばらす時間はないので見れる範囲でしかできないと言われコドラは不機嫌になる、ネッツにいるにもかかわらず態度も悪い、お店を出てコドラが近くのラリー屋を探すも留守電、とりあえず、色々調べたいみたいなので、ネッツから佐賀までは自分が運転し、一度コンビニに寄った時に少しガス臭いなど



気になりましたが、いつもとそんなに変わらないけど、そういえば北海道の帰りに鳴っていた金属音は相変わらずガタガタいっている。アンダーガードじゃなかったのか、この辺りでコドラがだまり出す。高速は普通に走れたけど、下道で少しスタートする際、力が無い??ちょっとおかしいかな位で到着。たこあしばかり気にするけど、自分はマフラーの気がするので、右側を上げてマフラーを見たらなんと、ネジが緩んでました。これで揺れてボディにマフラーの継ぎ目が当たっていました。更には排気漏れてるし、これで少しだけアイドリングが不安定だったのかと納得。北海道でも既にアイドリングが不安定でエンストをしていたので多分陸別SS2あたりからおかしかったかと思います。そして東北自動車道、仙台あたりからマフラー音がデカイ気がしたので、いずれにせよ一旦左右を緩めて締めようと思いましたが、少し不安だったのでADVICSメカニックさんに声をかけ、事情を話し締めてもらいましたが、歪んでいるのか締まりませんでした。たこあし全く元気です。合流した際、帰るとか言われた時は意味がわかりませんでした。まだラリー始まっていないのにパニックになるも、原因が分かりコドラは上機嫌です。まあいつものことだけど、車が動かない、帰るとかメールが来た時にはさすがにビビりましたよ。明日はしょうがないのでこの車で頑張ります。帰ったら一旦ガasketも心配なので点検出したいと思います。



【レッキ】

久しぶりのTGRラリーチャレンジ、コドラとレッキをしましたが、JMRC北海道でノートの表現が変わっていたため、説明をしながらのレッキ。1回だけだして色々言ったら、作っている最中にこれ俺読めないわ宣言。いや、読んでくれ。そのあと一生懸命ノートを書き直してました。コドラも少し成長したかな。でもビデオ撮ってないからよくわからんしビデオ買ってくれ。SS1とSS2がほぼ繋がっているというか、一旦フィニッシュそしてすぐスタートになるため連続ステージになります。



【SS1】

スタートして少ししたら三角の停止板が、前の前のヴィッツがアウト側の溝に落ちていましたが車はインから通れるのでそのまま通過したら、興奮したコドラが早くもノートをロストします。テンパっているので落ち着か



せて、先回りさせて再び復活、しかし同じコーナーを何度も何度も読むのでなんかよくわからない呪文になり伝わりません。(※右2、右2、右2、と右に曲がるまで繰り返す)1回読むだけで良いのに何度も言うから、このコーナーが、今何のコーナーか分からず、1回読むだけでいいからと言うと、再びパニックになりロスト。迫の見えないダウンヒルの様なコーナーを、道もノートなしで突っ込む勇気。峠を一人で走っていました。

【SS2】

続くSS2は、数百メートルですぐに来ます。ここで、1コーナー 1回読めばいいからと説明。するとかなりシンプルになり良い感じ。しかしコーナーに関係なくどんどん進むので、ストップさせたらロストします。いったん落ち着かせ、はい次、次、その先と、掛け声をかけるとスムーズになりました。やればできるじゃん。と褒めると喜んでいました。いや、SSの最中にコドラをなだめながら走るドライバーって。

【SS3】

した道をぐるりと回ってSS3へ、今の調子でやってみるとそこそこ読める。わかりやすい支持を出してくれて、いきなり9秒タイムアップ。コドラは上機嫌です。

【SS4】

ここでも無事ノートを読むことが出来、走りもそこそこで、悪くない走りが出来ました。クラス2位のタイムも出したりして、周りに少し追いついてきました。ここで昼休み休憩が入りますが、あんまり時間がありません。若干トラブルもありましたが何とか出発。1、2本目でトップと11秒の差がありましたが7秒差までつめる。3～4本目はみんなと変わらないタイムでしたので、1～2本目が少し悔やまれます。ラリーなのにコンマ差だったりして、中々面白い感じになってます。



【SS5】

スタートから悪くない走りをしましたが、最後でコドラがノートを読み間違え、少しロスをしました。2本目と同タイムでした。あそこでミスしなければベスト更新できたかも。少し悔やまれます。

【SS6】

ラストはスムーズに走れましたが、タイムを更新することが出来ませんでした。走れただけでももしかしたら全員タイムが落ちているのかも、と思いましたが、ふたを開いたら、



他のドライバーがベストをたたき出していて結局離されてしまいました。悔しい～。

【トータル】

九州は太っ腹です。なんと3位まで表彰があった為、表彰台へ上がることが出来ました。更には入賞者にお土産もいただきました。初めて表彰台に上がったのも1年前の佐賀でしたがこれで九州は連続表彰台。車は万全ではなかったですが、一時はリタイヤになるかと思いましたが無事走れて良かったです。又、遠征組ばかりでしたのでクラス関係なくみんなで団結しながら楽しく走れました。ありがとうございます。



【車の状態、課題、対応など】

スタートの瞬発力がなく、アイドリングになると、エンジンが停止してしまう状態で、明らかに低トルクがありませんでした。又走行中も金属音がし、十分な状態ではありませんでしたが、原因がわかり、車が壊れることはないという安心感が出てよかったです。走りは悪くないのに、タイムが出なかったのも車が原因だと思いますが、正直良い走りをしていただけなのに離されてしまったのは悔しいです。次戦は翌週裾野です。車を修理して万全な体制で臨みたいと思います。



最後になりましたが、いつも支援して頂いております(順不同)、Lovedrive様、住友ゴム工業株式会社様、ソフト99様、大和エネフル様、TRD様、有限会社アールエーシー様、ネットヨタ愛知様、EMCエンジニアリング様、クリスタルボディ横浜様、T. M. WORKS様、ハイランダー埼玉ファクトリー様、株式会社アドヴィックス様、ふじよしだ振興財団様、リキテック様、SRファクトリー様、ペトロテック有限会社様、R'S DESIGN様、菱木レーシング様、タイマー様、オートモデラーズカフェ様、株式会社シロマ様、有限会社アールエーシー様、現地、地元で応援して頂いた皆様、本当にありがとうございました。引き続き応援・ご指導・ご協力宜しくお願い致します。

